

【利根川水系及び荒川水系】 水資源開発基本計画 変更の考え方

国土交通省 水管理・国土保全局 水資源部



【利根川水系及び荒川水系】水資源開発基本計画 変更の考え方

フルプランの見直し（全部変更）に向けた検討

- 現在の利根川水系及び荒川水系フルプランは、平成27年度を目途として水の需要の見通し及び供給の目標を定めている。
- 現在、フルプランの見直し（全部変更）に向けて、基本方針の検討が進められている。
 諮問『リスク管理型の水の安定供給に向けた水資源開発基本計画のあり方について』（平成28年12月22日）
- 答申を頂いたのち、速やかにフルプランの全部変更手続きに入る予定

平成27年度のフルプラン一部変更（平成28年1月22日閣議決定）

- 思川開発事業と霞ヶ浦導水事業はフルプラン上の予定工期が「平成27年度まで」となっていたが、事業完了に至っていなかった。
- そのため、利根川水系及び荒川水系フルプランの見直し（全部変更）に先行して、工期の変更に関する一部変更を行った。
- 一部変更の時点で、思川開発事業はダム事業の検証を、霞ヶ浦導水事業は予定工期の見直しを行っているところであったため、以下の通り附帯事項を追加した。
 - 思川開発事業 「当分の間、事業を継続しつつ、引き続きダム事業の検証を進め、その結果を踏まえて速やかに必要な対応を行うものとする。」
 - 霞ヶ浦導水事業 「事業を継続しつつ、予定工期の見直しを速やかに行うものとする。」
- これらの2事業については、対応方針が決まったのちに、それに応じたフルプランの変更について改めて水資源開発分科会から意見聴取を行うこととしていた。

今回の一部変更

- 思川開発事業のダム検証及び霞ヶ浦導水事業における予定工期の見直しが終わったことから、利根川水系及び荒川水系におけるフルプランの一部変更を行い、両事業の予定工期を変更するものである。